

## 1) わが国の慢性透析療法の要約

日本透析医学会は1968年より年に一回全国の透析療法施設を対象に統計調査を行っていますが、2005年末の統計調査は全国の3,985施設を対象に実施され、3,940施設から回答が寄せられました。回収率はシートIのみでは98.9%、全体では93.7%になります。これらの調査結果を集計した2005年末のわが国の透析療法の現況を報告します。

### (1) わが国の慢性透析療法の要約 (図表1)

施設数		3,940施設	(58施設増)	1.5%増
設備	ペーシェントステーション	100,552台	(3,186台増)	3.3%増
能力	同時透析	99,883人	(3,343人増)	3.5%増
	最大収容能力	339,415人	(10,617人増)	3.2%増

慢性透析患者	257,765人	(9,599人増)
--------	----------	-----------

※慢性透析患者の総数は、シート1患者総数欄の合計であり、治療方法別患者数の合計とは必ずしも一致しない。

昼間	206,340人	(80.0%)
夜間	41,871人	(16.2%)
在宅血液	127人	(0.0%)
CAPD	9,243人	(3.6%)
IPD	188人	(0.1%)

導入患者数	36,063人	(979人増)	2.8%増
死亡患者数	23,983人	(1,268人増)	5.6%増

	男	女	不詳	計	
5年未満透析患者数	76,996	44,726	81	121,803	(50.6%)
5年以上10年未満透析患者数	35,824	23,465	6	59,295	(24.7%)
10年以上15年未満透析患者数	16,483	12,065	2	28,550	(11.9%)
15年以上20年未満透析患者数	8,035	6,569	1	14,605	(6.1%)
20年以上25年未満透析患者数	4,799	4,039	0	8,838	(3.7%)
25年以上透析患者数	4,300	3,122	0	7,422	(3.1%)

※透析歴別患者数は調査シートII～IVの記入から算出

人口100万対比	2,017.6人 (74.1人増)
----------	-------------------

最長透析歴	38年0ヵ月
-------	--------

### 解説

#### わが国の慢性透析療法の現況

今回の調査により回答施設数は3,940施設となり前年度より58施設(1.5%)増加し、設備・能力もそれに伴って増加しています。患者数の増加に対処するための必然の結果といえます。

ペーシェントステーションは100,552台であり、これは3,186台(3.3%)増しとなりました。この結果、同時透析は99,883人となり、3,343人(3.5%)増しとなり、最大収容能力は339,415人(10,617人、3.2%増加)となりました。